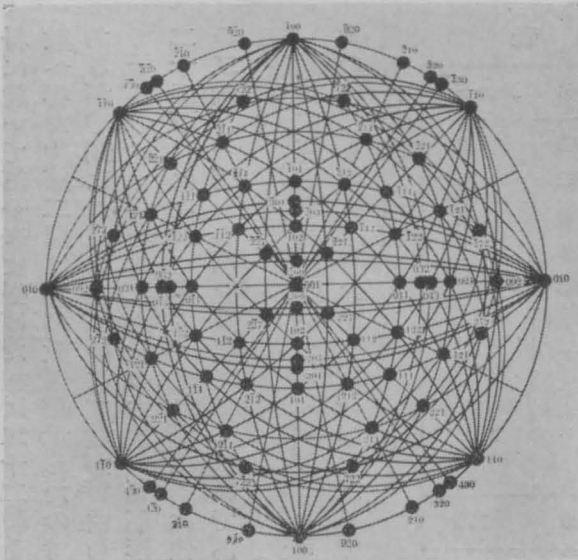


朝鮮黃海道黃州郡天柱面 の黃鐵鑛後の褐鐵鑛

鷓川平八郎

黃海道黃州郡天柱面及其の附近のオルドキス紀の石灰岩中には黃鐵鑛より變つた褐鐵鑛の鑛床が點々として散らばつて居る。此の鑛床に褐鐵鑛の假像が産する事は既に朝鮮鑛物誌に記載された處であるが、最近中村先生及豫て同地方の地質の研究に従事して居られた學生竹原平一氏は内橋里黃州鐵山で此の結晶を多數採集されたり、 $a(100)$ 及 $c(210)$ を主面として之に狭り、 $d(110)$, $D(920)$, $h(320)$, $g(430)$, $o(111)$, $p(221)$, $n(211)$, 及 $m(722)$ 等の面を伴ふもので此等の諸面は第一圖の綜合ステレオ投影圖に示してある。此處に興味ある事は、其のコムビネーションが實に多様な事で、三百七十箇の試

第一圖



第一表

Cube	Octa-	Dodeca-	Pyritohedron				Trisoc-	Trapezo-		Figure
	hedron	hedron	g(430)	h(320)	e(210)	D(920)	hedron	n(211)	m(722)	
a(100)	o(111)	d(110)								
x										a
x	x									b
x	x	x								c
x					x					d
x	x	x			x					e
x	x	x			x			x		f
x	x	x		x	x			x		g
x	x	x		x	x			x	x	h
x	x	x		x	x			x	x	i
x	x	x		x	x			x	x	j
x	x	x		x	x			x	x	k
x	x	x		x	x			x	x	l
x	x	x		x	x			x	x	m
x	x	x	x		x		x	x		n
x	x	x		x	x			x		
x	x	x		x	x			x		
x	x	x		x	x			x		
x	x	x		x	x			x		
x	x	x		x	x			x		
x	x	x		x	x			x		

地球

第二十一卷

第二表

Combination	%	Number
aのみ	0.5	2
eのみ	5.2	19
a+e	67.0	248
a+o	0.5	2
a+o+d	0.3	1
a及e面或はその いづれか一方を 主面とし此れに m,n,o,d,p,D,g,h 等を伴ふもの	26.5	98
	100	370

第六號

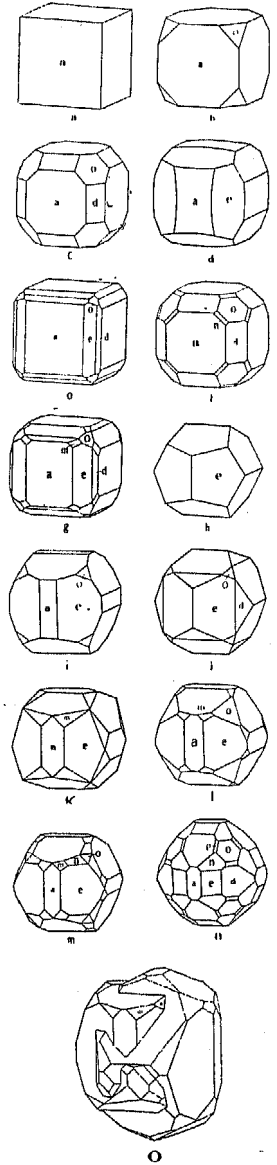
四番

五六

料に就いて第一表に掲げた様に二十二種を
 數へ得た。第二圖は其の數例を示したので
 あるが、(d)に於てaとeのなす稜が彎曲し
 て居るのはaが非常に指數の大きい偏菱形
 二十四面體になつて居り、此れが次第に他
 の二軸との切り合ひを減じて行く爲めであ
 る。

試料三百七十箇に就いてコムビネーショ
 ンの同じものを選分け、百分率を求めて
 見ると第二表の様である。

第二圖



雙晶はeを主面とした結晶に最も普通に見られ、oを雙晶面とした透入雙晶である。(第二圖o)

終りに御校閲を賜つた松原先生、標本を貸與

され且種々御教示に與つた中村先生及び竹原平一氏に深く感謝の意を表する。

(昭和九年三月廿三日)

備後の名勝下帝釋峽

吉野益見

目次

概説 一、地形 二、地質

備後の名勝下帝釋峽

各説 一、永新の曲峽

イ、前半の景
ロ、後半の景

墨

五七